

農業委員会だより 第2号

〔編集・発行〕薩摩川内市農業委員会 農業委員会だより編集委員会
 薩摩川内市神田町3番22号
 回(23) 5111(内線5632)

市長に意見書を提出

薩摩川内市農業委員会では、本市の農業発展に寄与するため、農業者の声を集約し、農地等利用最適化推進施策の改善に向けた意見書を、2月23日、市長に提出しました。意見書の内容を要約すると次のとおりです。

1 担い手への農地の集積・集約化 および新規参入の促進について

○新規就農者を対象とした相談窓口、研修制度を強化すること



▲有村会長から岩切市長へ意見書を提出

○地域農業の担い手である認定農業者の支援体制を充実し、経営の継続に有効な取り組みを推進すること

2 遊休農地の発生防止・解消

○遊休農地の解消につながる事業を継続し、農地の利用集積に関する広報活動を強化すること

○農業環境向上のための施設の整備を継続し、維持管理の支援も継続すること

○有害鳥獣対策を継続・拡充し、関係機関に対して抜本的対策を講じるよう要望すること

3 前記1・2の項目推進のための体制整備について

○農業政策や計画の立案に当たっては、農業委員会、農業協同組合をはじめとした関係機関との情報共有や意見交換を行うこと

○甌島地域の農業振興を図るため、運送費に関する農家の負担軽減策を拡充すること

○農業委員会の事務局体制を整備・強化すること

湯田・西方地区で

遊休農地の草払いを実施

湯田地区では、「湯田地区資源保全組合」を立ち上げて、遊休農地解消に向けての活動に取り組んでいます。

また、西方地区には保全組合はありませんが、地区コミュニティ協議会が市の地区コミュニティ活性化事業を活用して乗用草払い機を購入し、遊休農地の草払い活動を行っています。

これまでに約7万4000㎡の遊休農地のうち3万1000㎡の草払いを実施しました。

見違えるようになった田んぼを見た参加者からは、次はどう活用するか の意見も出るなど、今後の展開が期待されます。



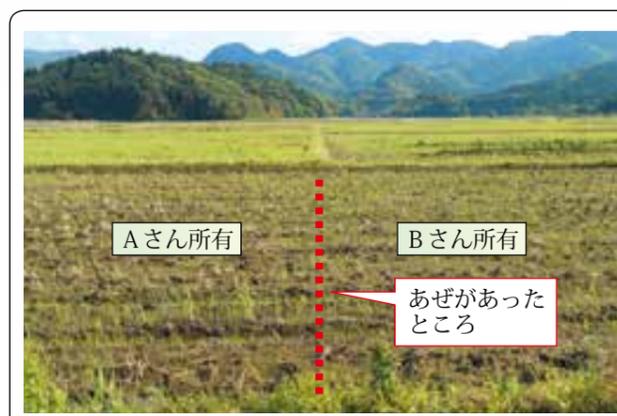
▲乗用草払い機による遊休農地の草払い

水田のあぜの適正利用を

2枚以上の水田を借りて耕作している方が、水田の間にある「あぜ」の部分を取り払って耕作している事例が市内各所で見受けられます。

あぜを取り払うと、水田の面積が増え、大型機械の往来もしやすくなるなど利便性は高まりますが、あぜを挟んだ

Aさん所有の水田と、Bさん所有の水田を借りて水稲を耕作しているCさんが、間のあぜを取り払い、目印も付けていなかったため、Aさん所有分とBさん所有分の境界が分からなくなっています。



農業委員と農地利用最適化推進委員の情報交換会を行っています

農業委員会では、毎月の総会終了後、担当する地域ごとに分かれて、農業委員と農地利用最適化推進委員による情報交換会を実施しています。

情報交換会では、地域の貸し手・借り手の情報交換や、担当地区内の農地についての意見交換など、さまざまな議題について自由な討議が行われています。

また、祁答院地域や東郷地域では、地域独自の情報交換会も実施しており、より地域に密着した活動の実施に努めています。



▲活発な議論が交わされる情報交換会

農地法の許可申請に伴い 現地調査が行われます

農地の売買や貸借には農業委員会の、転用には県知事の許可が必要です。農業委員会では毎月、農地の売買や貸借などの申請を受け付け、農地法の規定に適合しているか審査しています。

申請を受理すると、申請地の現地調査が行われます。調査は農業委員、農地利用最適化推進委員の2人で行い、申請人の立ち会いの下、営農状況などを聞き取りながら、耕作できる状況になっているか、境界は明確になっているかなどを確認していきます。

これらの現地調査の結果を踏まえ、総会で審議・議決が行われ、許可書の発行や県知事への進達が行われます。



▲現地調査の様子(祁答院地域)

鹿児島の農地「貸したい」「借りたい」総点検活動を実施しています

担い手への農地の集積・集約化や遊休農地の解消・活用などを推進するため、農業委員会では市内在住の全ての農家を戸別訪問しています。調査では、現在の営農状況や農地の保有状況、今後の農地の利用見通しなどを伺います。皆さんの理解と協力をお願いします。

・調査は農業委員・農地利用最適化推進委員が行い、調査の実施期間は平成32年4月までです。

・調査は、主にアンケートを基に、聞き取りによる調査を行います。

・留守の場合は、不在連絡票を残しますので、記載された内容に従い、確認や連絡をお願いします。

農業委員会だより編集委員会

▼委員長 蒲生原良廣
 ▼副委員長 有馬康夫

▼委員 有村四男、別府生次、武田芳しげ子、岩元博徳、徳利忠好、牧田信一、梶原拓二

【問合せ先】本庁農業委員会事務局農地管理グループ(内線5621)または各支所地域振興課産業振興グループ(鹿島支所は産業建設グループ)